

ご意見の要旨		本市の考え方
1.まちづくり方針について		
	・当該再開発案に賛成である。 ・まちづくり方針の策定に反対である。	大阪城公園周辺地域(以下、当エリアという。)を東西都市軸の新たなヒガシの拠点として位置付け、森之宮周辺、大阪ビジネスパーク駅周辺、京橋駅周辺を一体として捉え、「国際観光拠点の強化」「国際的なイノベーション拠点の形成や国際人材の受入環境の整備」「人・モノ・情報の交流の促進」をめざしてまいります。
	昭和10年に創建された、伝統芸能・能楽の拠点である大槻能楽堂の建造物は、登録有形文化財であり、方針案のP5の図に大阪城周辺、難波宮跡の南に位置する重要な文化施設として示すことで、大阪城周辺の国際観光拠点としての文化の厚みを示すことができる。	P5の図は周辺エリアの観光資源の一例を示したものです。ご意見については、当該エリア内の施設における様々な取組やイベント等の効果的なプロモーションなどを図る際の参考とさせていただきます。
2.土地利用について		
	森之宮周辺には新たな大学ではなく、公共の庁舎を整備するほうが望ましい。	森之宮周辺については、令和2年5月1日から令和2年6月3日までパブリック・コメントを実施し、「新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち」をコンセプトとした「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を策定し、この方針に基づいてまちづくりを進めております。
	府立成人病センター跡地、旧大阪府立公衆衛生研究所を含むまちづくり方針のもと、地元住民として「健康で安心に暮らせるまちづくり」を産・官・学・地域住民(地域活動協議会)と4団体で考え、協力し合い進めるまちづくり方針を希望する。	本方針は、都市再生緊急整備地域の地域整備方針や大阪のまちづくりグランドデザイン等に基づき取り組んできたまちづくりを前提としながら、今後の大阪の成長戦略「BeyondEXPO 2025」や基盤整備の動向、森之宮周辺における「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」に基づくまちづくりの具体化を踏まえ、当エリアが一体となったまちづくりを進めるため、まちづくりの目標や土地利用の方針、基盤整備の方針を示すものです。
	デベロッパー目線での計画と思われ、人、特に地域住民の視点での考察が希薄に感じました。「まちづくり」で新しい箱物ができて、新たな交通網により労働者が移動、それに伴い住宅や病院、教育施設、飲食関連、エンターテインメント関連の施設が付随して供給されるというイメージですが、従来からの地域住民や周辺住民との接点はどうなるのでしょうか？ 方針案のP10③について「子育て世代に必要な廉価なファミリータイプの一戸建てやマンションをヒガシ地区周辺に供給し、保育園、幼稚園等も充実させ、かつ高齢者向けの特別養護老人施設等の施設も充分に供給される」という理解をいたしました。それが宜しいでしょうか。 「ヒガシ」地区における地域住民との交流或いは接点はどうなるのでしょうか。各先端企業の労働力は若者だけのイメージで立案されているようで、方針案の24ページでは、1ルームマンションの家賃比較で「スタートアップ・ベンチャー企業や学生の居住地の受け皿として」とあり、1ルームマンションの供給は増えるがファミリータイプの住居の話は触れられていません。また新たな開発により住宅コストが高くなった場合、「ヒガシ」地区において、いわゆる「ジェントリフィケーション」がおこらないか懸念されます。 地区町会と区役所が「町会員を増やそう子供達が元気に過ごせる町会にしよう」と活動していますが高層マンションやワンルームマンションでなくて、ファミリータイプの一戸建てやマンションが低価格でこの「ヒガシ」周辺に多く供給されたら素晴らしいなあと、地域の理想としてあるべき姿を俯瞰してコメントさせて頂きました。	導入する機能や実際に建築される施設については、土地所有者や民間開発事業者など実施主体が、プロジェクトの具体化に際し、関係機関と調整・連携などを図りながら検討を進めていくこととなります また、当エリアでは、来訪者のみならず地域住民の方々も含めた利用者の地域内外の回遊性向上及び賑わいの創出に向けて、地域全体の利便性、安全性、快適性に優れた歩行者ネットワークの構築や賑わい、憩いの創出に資する駅前広場など人中心の空間の形成を進めるとともに、大阪京橋駅周辺においてはJR片町線・東西線別線地下化等により、地域分断の解消や駅機能の集約化等に伴う利用者の利便性の向上を図ります。 加えて、多様な交通手段を受容できる交通結節点の形成をめざし、先進的な技術を活用した新たなモビリティの導入についても検討しているところです。 ご意見については今後の参考にさせていただきます。
	・国際競争力や観光客を呼び込む国際観光拠点の強化、国際的なイノベーション拠点の形成など、美辞麗句の目標が並んだ方針案には、静かな生活圏が脅かされるのではないかと恐怖を感じました。 ・地震、台風、大雨、大風などの災害から住民を守るまちづくりの観点、大気汚染の改善策などはこの方針には見当たりません。行政は、住んでいる住民の立場で住環境を考えてくれているのでしょうか？	
	中之島の医療や梅田での金融・商業の発展とともに大阪城公園周辺地域については先進的な技術の実験場として近未来の街としての発展を目指してもらいたい。	

ご意見の要旨		本市の考え方
3.基盤整備について		
	・下水処理場北部を豊里矢田線に繋がる道として整備をお願いします。スペースとしては十分に確保でき、所有も大阪市のはずです。とにかく回遊性を向上させる必要があります。metroのe-mobility townを見ても分かるように回遊性の向上を図らなければ、この地域は死んだままです。 ・下水処理場東面道路の歩道の設置をお願いします。カーブおよび下り坂であり、該当の道路を通行する際は非常に危険です。数年前の近隣住民の説明会でも強く要望されているようです。私は、当時の説明会を知りませんが、同感です。大学生も通るようになります。飲酒した状態で歩かれる大学生もいるでしょう。こちらも回遊性・安全性の向上に不可欠だと思います。 ・大阪城公園駅と駅東の住宅街を繋ぐ道路の開放について、一部フェンスにより通行不可となっておりますが、ここは開放することで回遊性が相当向上すると思われます。 ・豊里矢田線の鳴野橋周辺から京阪電車方面に行くには薄暗い墓地沿いの道路や立ち飲み屋などが並ぶ道を通る必要があるため子どもが通るのに安全と言い難い。そのため京橋駅南口付近から環状線沿いなどで安全に通り抜けられるようにしてもらいたい。 ・豊里矢田線について、大学の前を通る道路となるので京橋駅から大学までの通学路としても利用できるように整備してもらいたい。 ・PI4の“大阪城東部地区のまちづくりの方向性における基盤整備計画”の図の“東西動線整備”で赤く示されているように、JR大阪城公園駅から大阪公立大学までを直線的な動線で実現していただきたいです。PI3でオレンジの点線で書かれているような、駅と大学を行き来する際に一度北上してから再び南下する動線だと遠回りに感じられ、駅の東側に住む人たちが駅を利用したいと感じにくいと思います。	本方針は、都市再生緊急整備地域の地域整備方針や大阪のまちづくりグランドデザイン等に基づき取り組んできたまちづくりを前提としながら、今後の大阪の成長戦略「BeyondEXPO 2025」や基盤整備の動向、森之宮周辺における「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」に基づくまちづくりの具体化を踏まえ、当エリアが一体となったまちづくりを進めるため、まちづくりの目標や土地利用の方針、基盤整備の方針を示すものです。 当エリアでは、地域全体の利便性、安全性、快適性に優れた歩行者ネットワークの構築や舟運との連携をめざし、大阪城公園から大阪ビジネスパーク駅周辺・大阪京橋駅周辺を結ぶデッキ等ネットワークの充実や、大阪城公園駅から森之宮周辺内の大阪公立大学や大規模集客・交流施設などにいたる歩行者空間の整備を図ってまいります。 基盤整備の具体化に際し、関係機関と調整・連携などを図りながら検討を進めていくこととなります。ご意見については今後の参考にさせていただきます。
	JR片町・東西線の別線地下化事業の内容がわからない。	JR片町線・東西線の別線地下化（連続立体交差事業）は、京橋エリアを東西に走行している現在線を、新たに構築する地下構造物（別線）に移設することで、鉄道による地域分断の解消や駅機能の集約化等に伴う利便性の向上をめざすものです。なお、現在検討中の別線ルートをPI3基盤整備の方針図（整備イメージ）に示しています。
	・都市計画道路や踏切解消を目的としたJR学研都市線・東西線の地下化範囲を包含する対象区域の設定や「周辺区域」（準対象区域）のようにまちづくり方針を踏まえたまちづくりや都市施設の整備が取り組みやすくするしくみを検討してほしい。 ・基盤整備は一体的な整備が必要と思われるが、まちづくりは長期の視点で、まちの変化も楽しみに変わるようなものとしてほしい。	基盤整備や導入する機能、実際に建築される施設については、実施主体がプロジェクトの具体化に際し、関係機関と調整・連携などを図りながら、対象区域の設定も含め検討してまいります。検討の際にはいただいたご意見を参考にさせていただきます。
	森之宮周辺において、国際的な観光・学術拠点としての機能強化と利便性向上のため、国際便が就航する関空、神戸空港間のリムジンバス停留所の整備が望ましい。	当エリアでは、地域内や国内外との交流を促進するため、関西広域や周辺地域（大阪京橋駅周辺、森之宮周辺）をつなぐ道路ネットワークや交通結節点の強化を図るとともに、多様な交通手段を受容できる交通結節点の形成をめざすこととしております。 PI1やPI2でお示ししたとおり、森之宮周辺においては、鉄道、バスなど様々な交通を有機的に結ぶ交通結節点となる交通広場として、公共交通を中心としたロータリーの整備に加え、オンデマンドバスやパーソナルモビリティ、自動運転バスといった新たなモビリティの導入の検討を進めるとともに、将来のモビリティの導入に対応できるスペースの確保を図ってまいります。また、大阪京橋駅周辺・大阪ビジネスパーク駅周辺においては、関西国際空港方面等とのバス路線や大阪城周辺の各エリアを結ぶ新たなモビリティやタクシー等の交通結節点となる南北の駅前ロータリーの整備を図ることとしております。ご意見については今後の参考にさせていただきます。
4.大阪公立大学（森之宮キャンパス）について		
	・大阪公立大学の整備では、上町台地や新今宮周辺から下る坂が断層帯となっており、地震の影響を受けやすい地域である。令和7年秋に大阪公立大学森之宮キャンパスはできるのか。また、立地については東大阪でいいのではないか。 ・大阪公立大学は先導役の役割がいらぬのでは。現在のままで十分ではないか。	大阪公立大学森之宮キャンパスは、良好な交通アクセスかつ大阪の東西都市軸の東部重要拠点である森之宮に立地するメインキャンパスであり、耐震性など、関係法令に適合した形で2025年3月に竣工しました。今後、2025年9月の開設に向け準備を進めてまいります。 また、森之宮周辺については、令和2年5月1日から令和2年6月3日までパブリック・コメントを実施のうえ策定した「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」に基づき、「新大学を先導役にして、観光集客・健康医療・人材育成・居住機能等の集積により、多世代・多様な人が集い、交流する国際色あるまち」をコンセプトとして、まちづくりを進めております。

ご意見の要旨		本市の考え方
5.多世代居住複合ゾーンについて		
	・高い建物が建つと大幅に影となる場所が多くなるため、光がよく入る低い建物もしくは緑の多い芝生の公園やグラウンドを有する公園が望ましい。 ・大阪公立大学の新しい学部を設置とそのまわりに公園も含めた緑のゾーンをつくって欲しい。 ・図書館やスポーツ施設、飲食店が欲しい。 ・学校が望ましい。 ・公的な場所で皆様にとって楽しい、又は利益にはつながらないが人生にとって楽しくなるような建物をつくっていただければ生きがいになります。 ・大阪健康安全基盤研究所の公開空地としてやすらぎグリーンロードができました。現在は整備が少しだけされている状況ですので、今後延長するかたちで、緑で地域を囲んでいただきたい。 日本の中でも一番公園の面数が狭い東成区の北中道である。とても良い機会なので公園・緑をどのようにしたら増やしていけるのかを計画し考えていただきたいです。また災害時使える広い空間・芝生広場を是非計画に入れていただきたい。 その周りに居住空間がくるとしても近年流行りの高層マンションは絶対に反対です。圧迫感も出てくるだろうし、日照権の問題も発生してくると思われます。子どもが喜んで遊べるところ、シルバー世代の憩えるところ、子連れの若い世代が楽しめるところこれらを網羅するような計画になればまちづくりが活性化し多くの方たちが住みやすいまちになると思われます。 ・子育て、ファミリー世帯向け、高齢者向けマンション・老人ホームの建設には反対です。箱作りをしてもそれに伴う人材不足等が生じる。一体的なまちづくりになるとは思われない。研究機関があるので誘致して学生と共に専門分野に特化した場所とする。 ・マンション建設は反対です。健康で未来社会のまちづくりを希望します。大阪・関西万博2025において飯田グループと大阪公立大学が共同で展示しているような研究とウェルネス・スマートハウスが成人病センター跡地にできることが望ましい。加えてグランフロント大阪周辺のような緑地公園をまわりにつくっていただければ、より望ましい。 ・「地域環境に配慮し、長く、快適に健康で暮らせる住宅を追及する飯田GHD」と「大阪公立大学人工光合成研究センター・健康科学イノベーションセンター」が共同で、2025年大阪・関西万博にパビリオン出展している「巨大ジオラマとウェルネス・スマート・ハウス」の誘致などを希望する。	本方針は、都市再生緊急整備地域の地域整備方針や大阪のまちづくりグランドデザイン等に基づき取り組んできたまちづくりを前提としながら、今後の大阪の成長戦略「BeyondEXPO 2025 」や基盤整備の動向、森之宮周辺における「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」に基づくまちづくりの具体化を踏まえ、当エリアが一体となったまちづくりを進めるため、まちづくりの目標や土地利用の方針、基盤整備の方針を示すものです。 導入する機能や実際に建築される施設については、土地所有者や民間開発事業者など実施主体が、プロジェクトの具体化に際し、関係機関と調整・連携などを図りながら検討を進めていくこととなります。ご意見については今後の参考にさせていただきます。
6.その他のご意見		
	【道路】 ・寝屋川沿いの歩道について、ひび割れや隆起によりつまづいたり、夜間に薄暗く足元が見えずこけて危うくガードレールに頭をぶつけそうになったこともあるため安全に通れるように整備してもらいたい。 【公共用地】 ・旧成人病センター跡地などの公共財産を売却前提に考えていることが納得できません。将来に予想される災害から住民を守るためにも、公共の用地を確保しておくことが行政の大事な視点だと思います。	ご意見については、担当部署に共有いたします。 なお、当エリアでは、地域全体の利便性、安全性、快適性に優れた歩行者ネットワークの構築や舟運との連携をめざし、大阪城公園から大阪ビジネスパーク駅周辺・大阪京橋駅周辺を結ぶデッキ等ネットワークの充実や、大阪城公園駅から森之宮周辺内の大阪公立大学や大規模集客・交流施設などにいたる歩行者空間の整備を図ってまいります。
	【公共施設】 ・空き地や公園が少なく「ポール遊び禁止」の張り紙が貼られている地域で、遊び場のない子どもたちがかわいそうです。子どもの遊び場を作ってください。空き地は無駄な空間ではなく、地域の財産と考えてはどうでしょうか。 ・図書館が近くにありません。気軽に足を運んで本に親しめる図書館を作ってください。 ・中浜下水処理場の上部利用の優先度を高くしていただきたいです。下水処理場は必要不可欠な施設ですが、あまり良いイメージを持たれにくいため、下水処理場の地下化・上部利用が早期に実現できれば、より魅力的なエリアになると思います。	ご意見については、今後の参考にさせていただきます。